

# ふなばしタウンレポート

このパンフレットは、幅広く市民の皆さまの声をお聞きし、市政に反映するために、平成26年7月に実施した「船橋市市民意識調査」の主な結果をとりまとめたものです。

船橋市では、魅力あるまちづくりをめざし、市民の皆さまと一緒に今後の施策を展開してまいりたいと考えております。

このパンフレットが、その際の一助になれば幸いです。

## <「船橋市市民意識調査」の概要>

- (1) 調査対象 船橋市在住の満20歳以上の男女3,000人
- (2) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収法）
- (4) 調査期間 平成26年7月9日（水）～7月28日（月）
- (5) 有効回収数 1,335人（44.5%）

◆集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

◆（n）は、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。

◆回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

◆本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

## 回答者のプロフィール

### (1) 性別

	基数	構成比 (%)
1. 男性	542	40.6
2. 女性	745	55.8
(無回答)	48	3.6
合計	1,335	100.0

### (2) 年齢

	基数	構成比 (%)
1. 20～29歳	147	11.0
2. 30～39歳	264	19.8
3. 40～49歳	250	18.7
4. 50～59歳	276	20.7
5. 60歳以上	351	26.3
(無回答)	47	3.5
合計	1,335	100.0

### (3) 居住地区

	基数	構成比 (%)
1. 南部地区	272	20.4
2. 西部地区	234	17.5
3. 中部地区	247	18.5
4. 東部地区	256	19.2
5. 北部地区	269	20.1
(無回答)	57	4.3
合計	1,335	100.0

## 船橋市 市長公室 市民の声を聞く課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 ☎ 047 (436) 2784

ホームページ <http://www.city.funabashi.chiba.jp/>

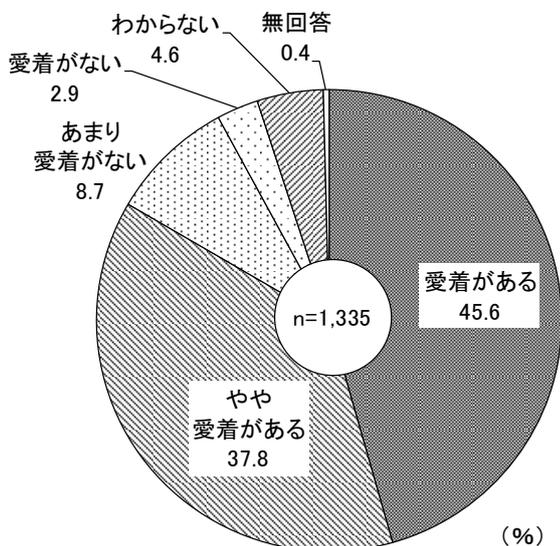
メールアドレス [shiminokoe@city.funabashi.lg.jp](mailto:shiminokoe@city.funabashi.lg.jp)

平成26年12月

# 1 住みごころについて

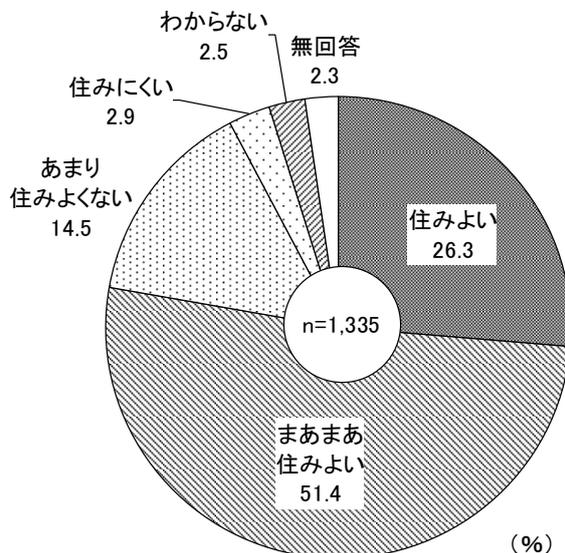
## (1) 船橋市への愛着

◇「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた割合は8割を超える



## (2) 船橋市の住みごころ

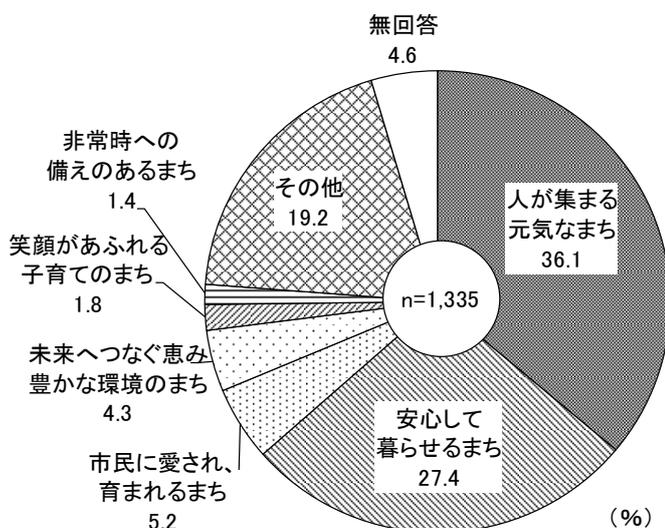
◇「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた割合は8割近く



# 2 船橋のイメージについて

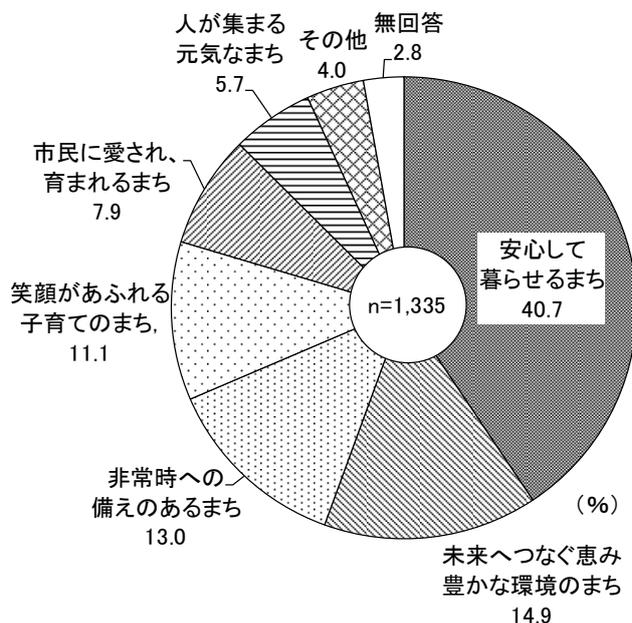
## (1) 現在の船橋市はどのようなまちのイメージか

◇「人が集まる元気なまち」が3割半ば



## (2) これからの船橋市をどのようなまちのイメージにしたいか

◇「安心して暮らせるまち」が4割



(3) 船橋市内で一番好きな場所（上位10項目）

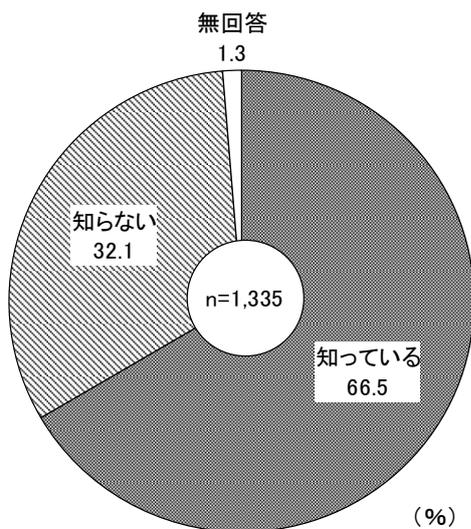
◇「アンデルセン公園」が最も多い

一番好きな場所	件数
アンデルセン公園	167
ららぽーと（正式名称 三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY）	129
海老川ジョギングロード	125
船橋駅周辺	60
船橋大神宮	40
三番瀬・三番瀬海浜公園	37
行田公園	33
自宅・自宅周辺	27
御滝公園・神社・不動尊	18
県民の森	17

### 3 ふなばしセレクションについて

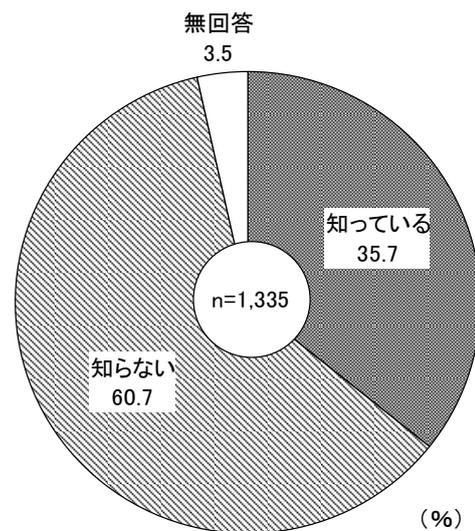
(1) 「船えもん」の認知度

◇「知っている」が6割半ば



(2) 「ふなばしセレクション」の認知度

◇「知っている」が3割半ば

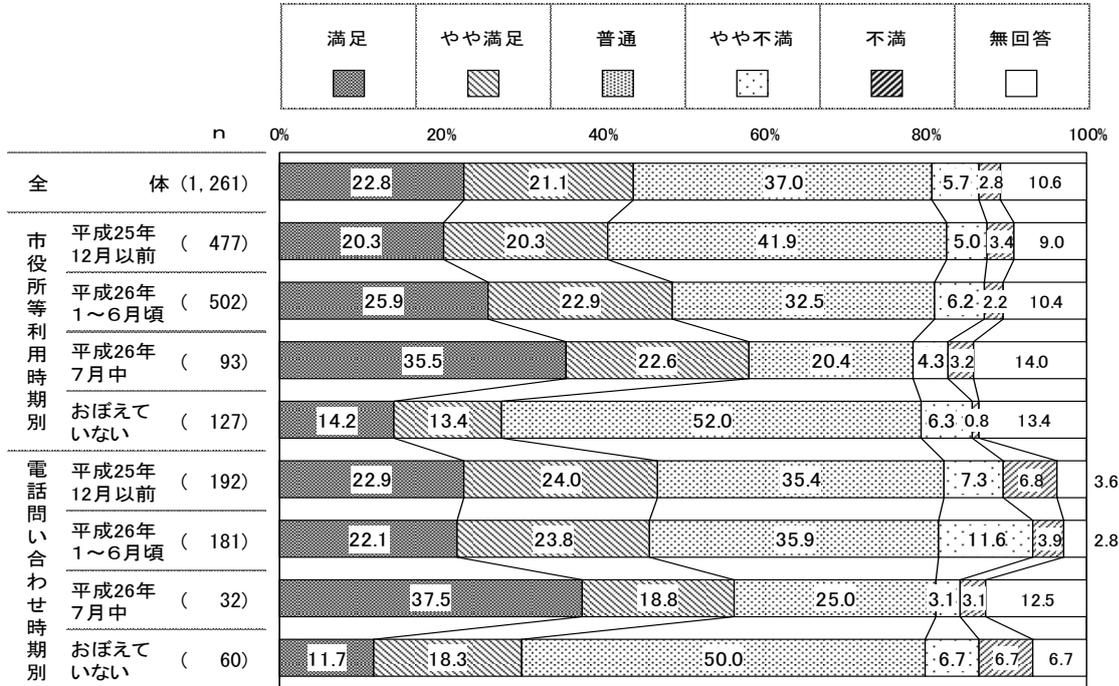


## 4 職員の接遇について

(1) 職員の対応による総合的な評価

【市役所等利用時期／電話問い合わせ時期別】

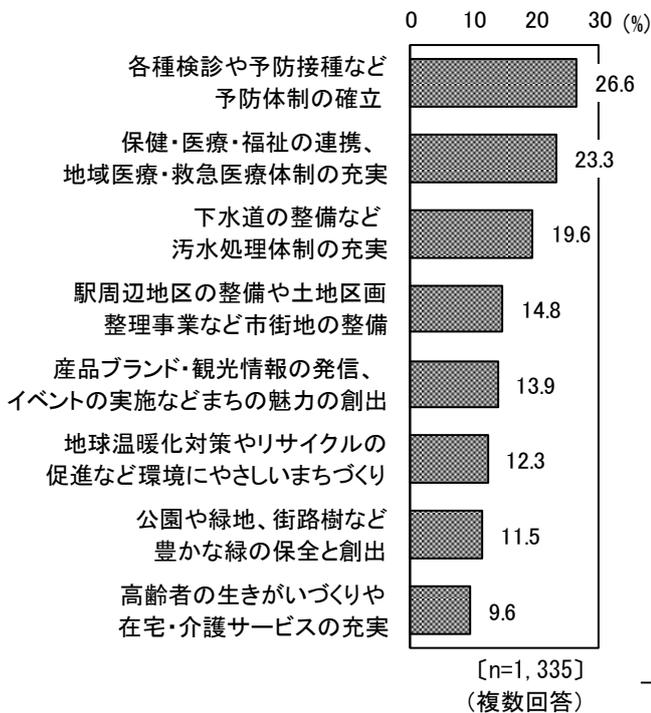
◇「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”と感じた人の割合は、平成26年7月中が最も高く、時期を経るごとに評価が高くなっている



## 5 市の施策について

(1) ここ数年でよくなったもの  
(上位8項目)

◇「各種検診や予防接種など予防体制の確立」が最も高く、2割半ば



(2) 今後、力を入れるべきもの  
(上位8項目)

◇「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が4割半ば

